

第2学年 外国語活動 学習指導案

令和3年2月9日(火) 4校時

第2学年2組 計29名

男子15名 女子14名

指導者 飯野 美結

研究主題 「Let's try communication more!」～児童が主体的に取り組む外国語教育の創造～

目指す児童像

簡単な表現や言葉を用い、友達と楽しく関わり合える子ども

1 単元名 「体であそぼう」

2 単元の目標

(1) 知識・技能

身体表現や伝え合うことを通して、体の表現に慣れ親しむことができる。

(2) 思考・判断・表現

体のパーツや飾りを集める活動を通して、友達と伝え合おうとしている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

自分の欲しい物を相手に伝えたり、渡したりして、進んで相手と関わろうとする。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	体の表現に慣れ親しむことができる。	体のパーツや飾りについて、友達と伝え合うことができる。	自分の欲しい物を進んで相手に伝えようとしている。

4 単元について

1年生の外国語活動では、数(number)色(color)、動物(animal)について活動を楽しんできた。歌を歌ったり、絵本を聞いたり、友達同士カードやシールを交換したり、すごろくで楽しんだりして、コミュニケーションの活性化を図ってきた。また、ハロウィーンやクリスマスの行事とからめて、外国語活動を楽しんできた。色の活動では、簡単なお店屋さん形式で行った。

2年生の外国語活動では、10月にハロウィーンの行事と関連付けて活動した。クモのキャンディー入れを作り、「Trick or Treat」と、友達同士でキャンディーをもらうやりとりをして、外国語活動を楽しんだ。

これまでの外国語活動では、友達同士での物のやり取りの時に、「～please.」「Here you are.」「Thank you.」という会話を何回も行っており、児童はそのやり取りに慣れ親しんでいる。

また、2年生の音楽では、BINGOやクリスマスソングを英語で楽しんだり、英語集会では、自分の好きな物を伝え合うという活動をした。

そこで今回は、身近な体の表現について、英語を使って楽しむようにしたいと考えた。体の英語表現は、日常生活で聞く機会も多く、児童にとって馴染みやすいと思われる、

本単元では、初めに、体に関するゲームを十分に取り入れ、体の英語の表現に慣れ親しませる。その後、「A Teddy Bear」の絵本の読み聞かせをする。ばらばらになったテディベアが、パーツが集まり、テディベアができあがるというお話から、自分たちもテディベアを作ろうという活動考えた。

欲しい体や飾りのパーツを伝え、それを渡すという活動を通して、体や飾り、色などの簡単な表現に慣れ親しませるとともに、友達との関わり合いを大切にしたい言語活動にしたい。

これまでの体験した会話より1つレベルアップし、お店屋さんとして、“May I help you?” “Which one?”の言葉かけもできるようにしたいと考えた。

また、1年生の時から外国語活動では、毎時間、英語の絵本の読み聞かせをしてきたので、今回も行っていく。

5 主な表現・語彙・使用教材

【表現】

A: Hello.	B : Hello. May I help you?
A: ~please.	B : Which one, A , B or C?
A: ~please.	B : Here you are.
A : Thank you.	B : You're welcome.

【語彙】 【body】 : head,eye(s),nose,mouth,ear(s),arm(s),leg(s),shoulder(s),knee(s),toe(s)

【Accessories】 : ribbon, star, heart, hat, tie, bag

【color】 : red, blue, pink, green, black, gray, orange, purple, yellow

【使用教材】

「From Head to Toe」 「A Teddy Bear」 「Dry Bones」 「Hippo Has A Hat」

6 児童の実態

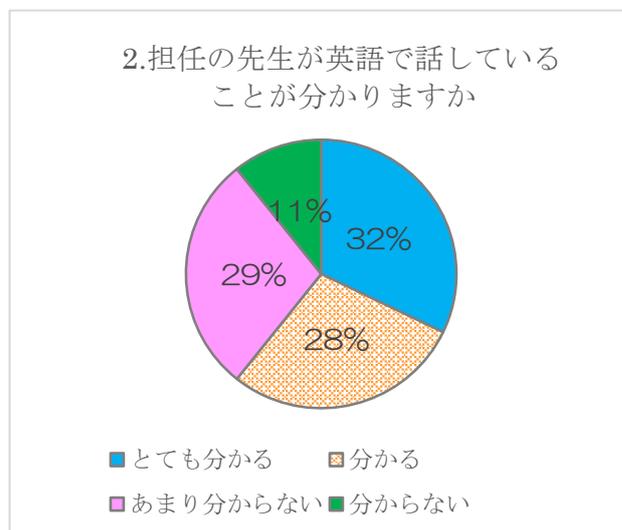
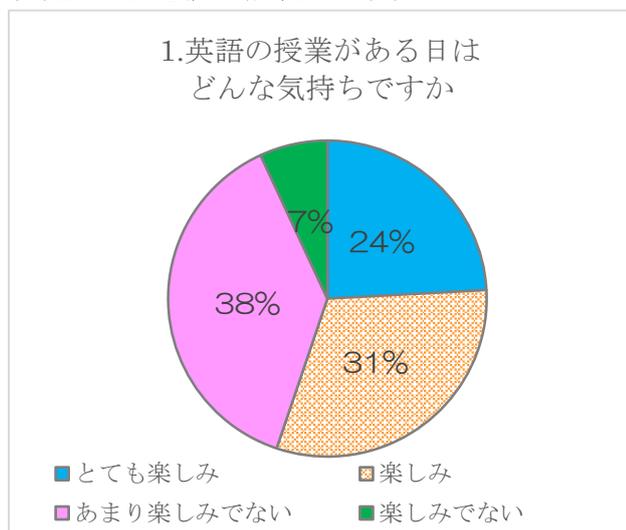
(1) 教師から見た実態

本学級の児童は、体を動かす活動が好きな児童が多く、音楽でB I N G Oを歌った時も、英語で歌うよりもリズムを打ったり、身体表現を工夫して楽しんだりする児童が多く見られた。また、物作りを好み、1年の時に行ったクリスマスツリーのカード作りや2年でのハロウィーンのクモのキャンディーバック作りなど、英語を活用しながら、楽しんで活動する様子が見られた。

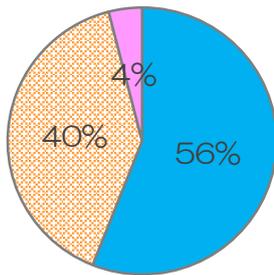
ただ、英語集会では、新しい単語に対して、発音することをためらったり、自分から話しかけることができずにしり込みしてしまったりする様子が見られた。

そこで、児童が好きな作る活動や身体表現を取り入れながら、英語表現に親しませるとともに、テディベアのパーツを集めるという活動を通して、児童同士のコミュニケーションの活性化を図りたいと考える。

(2) 児童の実態調査結果及び考察

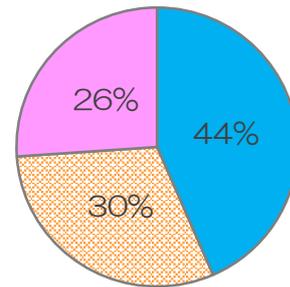


3.英語を聞いたときに真似しよう
と思いますか



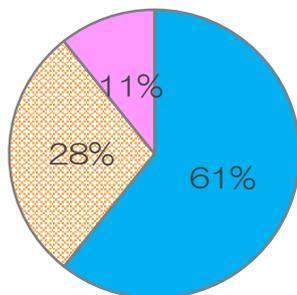
■ している ■ あまりしていない ■ 全くしていない

4.英語を聞いたり話したりする
ことが好きですか



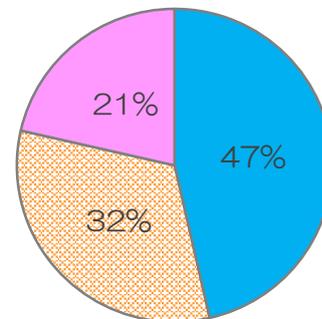
■ とても好き ■ 好き ■ あまり好きではない

5.英語が話せるよう
になりたいですか



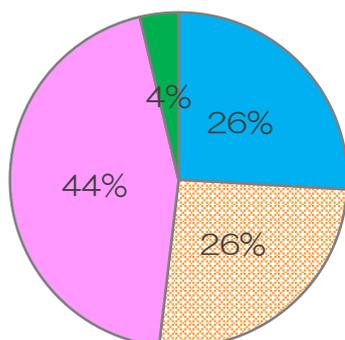
■ なりたい ■ あまりなりたくない ■ なりたくない

6.授業中、先生や友達に英語を
使って話そうとしていますか。



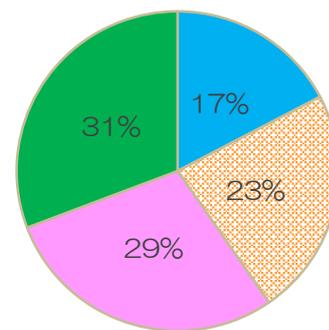
■ している ■ あまりしていない ■ 全くしていない

7.英語を習ったことがありますか



■ 今も習っている ■ 前に習っていた ■ 習っていない ■ 習いたと思っている

8 どんな時に英語を使いたいと
思いますか



■ 授業中 ■ 友達との会話 ■ 町で外国人に会ったとき ■ 先生に英語で何か伝えたい

アンケートの結果と日々の児童の姿を重ね合わせ、次のように考察した。

質問1より、英語活動がある日を楽しみにしている児童とそうでない児童が約半数いることが分かる。質問2、3から、先生が英語で話していることが分からない児童が40%、英語を聞いた時に真似しようと思わない児童が44%いることが分かる。質問5からは、英語が話せるようになりたい児童が89%いることが分かる。以上のことから、児童は、英語を話したいという気持ちはあるが、先生が英語で話していることが分からなかったり、英語を真似して話そうと思わなかったりすることが、英語活動を楽しみに思っていない原因ではないかと考えられる。質問8から、先生や友達に英語を使って伝えたいという児童が半数いることから、活動の中に、英語を使って伝え合う活動を多く取り入れていきたいと思う。また、分かりやすく簡単な英語を繰り返

返し使う場面を作ったり、絵や音楽と結び付けて分かりやすく英語に慣れ親しむ場を作ったりし、児童に英語活動の楽しさを味わわせていきたい。

また、作る活動が好きな児童が多いので、英語活動に作る活動を取り入れて、意欲を高めていきたい。

7 研究主題に迫るための指導の工夫

○「児童が主体的に取り組む」ための手立て

(1) 身近な表現や言葉に慣れ親しむ

・外国語に慣れ親しむための導入の工夫

外国語活動では、「歌」に身振り手振りを付けながら歌っている。ただ歌うだけではなく、身振り手振りで表現することによって、楽しみながら身近な表現や言葉に慣れ親しむことができるようにした。身振り手振りと合わせることで英語の表現を自然に覚えることができると考えた。毎時間の初めに行うことで、外国語活動を楽しく取り組もうという雰囲気づくりをしている。

また、毎時間の導入に、単元に関する内容の絵本の読み聞かせをしている。絵本を読み聞かせることによって、絵と英語の表現を結び付けることができるとともに、単元の内容にスムーズに入ることができると考えた、

・言葉や表現の掲示の工夫

本単元で使う言葉は、絵に単語が書かれているカードを使うことで、自然に目から情報が入るようにした。また、給食の時間に、英語の動画を見せることで、耳から英語を聞く機会を多くし、語彙を増やすようにした。

(2) 自分の思いを伝え合う

・児童にとって必然性のある場面設定

「テディベアの絵を完成させるためにパーツを集める」ことを目的とした活動を設定したことにより、児童に興味関心をもたせようとした。また、パーツ集めのために、必然的に児童同士がコミュニケーションすることができるように場を設定した。

8 指導計画と評価計画（全4時間）

時	○目標・学習活動	◎支援 ★評価【観点】（方法）
1	<p>○体のパーツの名前をどのように言うのかを知り、体に関する遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の絵を見て、体のパーツの名前を言う。 ・「Head shoulders knees and toes」を歌う。 ・読み聞かせを聞く。〈絵本：From Head to Toe〉 ・絵本のように、体を動かしてみる。 ・「Simon says game」する。 ・Body Parts Song を歌う。 	<p>◎体を動かしながら歌い、体のパーツに慣れ親しませる。</p> <p>◎「Simon says」と言われた時だけ動作するルールであることを確認する。</p> <p>★英語を日本語では、発音が違うことに気付き、発音に気を付けながら、体の言葉を表現している。</p> <p style="text-align: right;">【知・技】（行動観察）</p>
2	<p>○お店屋さんごっこをしながら、テディベアのパーツを集めることを知り、その表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを使って、体のパーツの単語を確認する。 ・「Head shoulders knees and toes」を歌う。 ・「Simon says game」する。 ・絵本を動画で見る。〈絵本：A Teddy Bear〉 <p>・お店屋さんごっこで体のパーツのやり取りをすることを知り、受け渡しの言い方に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツ「May I help you?」を歌う。 ・お店屋さんとお客さんに分かれて、鼻のパーツのやり取りを試してみる。 	<p>◎前時で学んだ体のパーツを思い出し、体を動かしながら歌うように促す。</p> <p>◎動画で体のパーツが増えていく様子を視覚的に見ること、テディベアを作りたいという思いをもたせる。</p> <p>◎見本のカードを見せて、テディベア作りの意欲をもたせる。</p> <p>◎チャンツ「May I help you?」を使って、パーツのやり取りに慣れさせる。</p> <p>◎お店屋さんのやり方に慣れ親しませる。</p> <p>★欲しいものを伝えたり、渡したりする表現に慣れ親しんでいる。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表】（行動観察）</p>

<p>3 (本時)</p>	<p>○体のパーツを集めて、テディベア作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを使って、体のパーツの単語を確認する。 ・「Head shoulders knees and toes」を歌う。 ・「Simon says game」をする。 ・読み聞かせを聞く。〈絵本：Dry Bone〉 <p>・チャンツ「May I help you?」を歌う。</p> <p>・教師と児童で、テディベアのパーツの受け渡しのやり取りを練習する。</p> <p>・テディベアの体のパーツ集めを行う。〈腕・脚・目・鼻・耳・口〉</p>	<p>◎体を動かしながら歌い、体のパーツに慣れ親しませる。</p> <p>◎今まで習った体のパーツの表現に意識させながら、聞かせる。</p> <p>◎テディベア作りを行う際の、受け渡しのやり取りをして、やり取りの表現に慣れ親しむ。</p> <p>◎テディベアのパーツ集めのやり方の見本を見せ、やり取りの表現に慣れ親しむ。</p> <p>◎言い方が分からない児童に声掛けをする。</p> <p>★進んで自分の欲しいものを相手に伝えたり、渡したりしている。</p> <p>【主体的に取り組む態度】(行動観察・作品)</p>
<p>4</p>	<p>○飾りのパーツを集めて、自分だけのテディベアを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを使って、体のパーツの単語を確認する。 ・「Head shoulders knees and toes」を歌う。 ・「Simon says game」する。 ・読み聞かせを聞く。〈絵本：Hippo Has A Hat〉 <p>・飾りや色の言い方を確認する。</p> <p>・チャンツ「May I help you?」を歌う。</p> <p>・飾り集めのやり取りの方法を知る。</p> <p>・テディベアに付ける、飾り集めを行う。 〈リボン・星・ハート・帽子・ネクタイ・靴〉</p> <p>・読み聞かせを聞く。〈絵本：A Teddy Bear〉</p>	<p>◎お話から、体のどの部分に飾りを付けてテディベアを完成させたいか考えさせる。</p> <p>◎飾りは、6種類のうち5種類まで選び、もらうことができることを伝える。</p> <p>◎完成させたテディベアを見ながら読み聞かせを聞き、振り返りをさせる。</p> <p>★進んで自分の欲しいものを相手に伝えたり、渡したりしている。</p> <p>【主体的に取り組む態度】(行動観察・作品)</p>

9 本時の展開 (3/4)

(1) 進んで欲しい体の部分を伝えたり、渡したりしようとする。

(2) 展開

過程	学習活動	◎指導上の留意点 ★評価規準	準備物
導入 10分	1 Greeting ♪Hello song 2 Warm up 体のパーツの語彙を復習する。 ・絵カード ♪Head shoulders knees and toes ・「Simon says game」 3 「Dry Bones」の読み聞かせを聞く。	◎英語の歌に合わせて体を動かすことで、明るく楽しい雰囲気作りをする。 ◎前時までに学習した活動を通して、英語の表現を思い出させ、確認する。 ◎体の表現に興味をもたせて聞かせる。	PC 絵カード 絵本 CD

2/9

Greeting

Hello song

Warm up

Picture book time

Activity

Goodbye song

Smile カード

eye contact
カード

Today's goal 体の部分をあつめて、テディベアを作ろう

Today's point

絵カード (耳) パーツ

絵カード (腕) パーツ

絵カード (目) パーツ

絵カード (脚) パーツ

絵カード (鼻) パーツ

絵カード (口) パーツ

完成
カード

やりとり例

A B C

パーツ表

(パーツ受け渡しやりとり例)

A: Hello.

A: ~please.

A: ~please.

A : Thank you.

B : Hello. May I help you?

B : Which one, A , B or C?

B : Here you are.

B : You're welcome.